



2020年11月13日

「デジタル遺品を考えるシンポジウム」への協賛

SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）は、11月14日（土）・21日（土）に開催される「デジタル遺品を考えるシンポジウム」に協賛します。

1. シンポジウムについて

本シンポジウムはフリー記者の古田雄介氏、弁護士の伊勢田篤史氏、デジタルデータソリューション株式会社による共同開催です。

あらゆる世代の方がデジタル機器を所有する時代において、持ち主が亡くなった場合も「デジタル遺品」であれば機器にデータが格納され、大切な資産を遺族に残すことが可能となります。ご家族の方が、ネットバンキング、FX、仮想通貨、電子マネー等のデジタル金融資産を把握できていない場合、相続時のトラブルに発展する可能性があります。

高齢化社会をむかえる日本で、ますます社会的課題となっていく「デジタル遺品」について、デジタルファースト法案やデジタル庁の計画が進むなか、「デジタル遺品」への一般理解促進に向け、どのように向き合えばいいのかを議論するものです。

2. 協賛の背景

デジタル遺品への適切な対応を議論する場である当シンポジウムに賛同し、協賛いたします。

3. 今後の展開

当社は、今後も高齢化社会・デジタル化社会における社会的課題に注目し、デジタル技術を活用して、お客さまの安心・安全・健康に寄り添い、お客さま本位での新しい価値・サービスを提供してまいります。